

2011年 ステージⅢ・公認スキー指導員検定 報告

仙台アルペンクラブ基礎部

山崎 恭正

既に関係者には報告していますが、2010年の第2会場（大鰐会場）は、新種目A単位「谷回り」で私の悪い癖である「内倒」がでてしまい、残念ながら不合格になってしまいました。かなり自信を失いかけてましたが、自分の甘さがあったからと認識した年でした。

それから早1年。青森市在住ということもあり、今回は宮城県連の養成講習会は参加せず、青森県連の指導員研修会などに参加して、他県の技術指導をいろいろ勉強させてもらいました。また体力維持のため、夏場はかなり走り込みを行い、時折マラソン大会へ出場して緊張感へのメンタルトレも行いました。そして本番へ備え準備万端。「次はない」とリベンジを心に誓いながら2月17日に青森から第2会場（田沢湖会場）へ出発しました。

田沢湖には15時頃に到着し早速、検定本部（駒ヶ岳観光ホテル）で受付をしました。ここは書類不備もなくすんなり終了。前回と異なった点として、宮城県連からビブの事前通知があり、私は30番であること、名前順から単位受験班の最終滑走者になることはわかっておりました。



S A J 第2会場本部（左手が駒ヶ岳観光ホテル）

今回の使用バーンは、国体上部で横滑り，下部でリズム変化，アイリスグレन्दで谷回り，駒ヶ岳第二でパラレル大回り，小回り，フリースタイル小回りという設定でした。結果は後程出てきますが，雪面はアイスバーンにはならず，難コースでもないのので，検定受検者にとって適当なスキー場であったと思います。

駒ヶ岳
第2コース



国体コース
(上：横すべり)
(下部：リズム変化)

アイリスコース

田沢湖スキー場

その日は天候もよく最高のスキー日和でした。斜面状況，バーン確認しましたが，第一印象として大鱈の雨池コースほど難コースではないなと思いました（雨池コースはやっぱり凄い！）。雪面ですが，少し固めに圧雪されたいいバーンでした。夜は，ホテルの温泉に泉質として硫黄分が高くいい温泉でした。夕食もしっかり食べて，明日も天候がいいことを祈りながら，翌日を迎えるのでした。→残念ながら天候は・・・・？



温泉に入り，リラックスしています

2月18日の開会式は，まず鈴木全日本会長兼秋田県連盟会長の挨拶から始まりました。主任検定員から「全員合格をして過去最高の合格率を出してみたい」との受験生には有り難い？コメントや秋田県連からの粹な合格祈願プレゼント？として，リフト券に合格祈願の

願掛けをしていること（受験生だけ特別に印刷済み！）、リフト降場に合格祈願神社（県連役員の写真まで！！）を設営してくれました。他の会場ではありえない素晴らしい企画で受験生として大変うれしかったです。



鈴木全日本会長兼秋田県連盟会長の挨拶



合格祈願神社



合格祈願リフト券



合格祈願神社（内部）

当日、午前中は理論試験。私は単位取得済みでしたが、100年の歴史、天気図などが出たらしいです。昨年より難しかったそうで2月20日の合格発表の折、数名の方がここで落とされ、100%合格はなくなったとコメントがありました。

その間、私は本日の種目「谷まわり」を本コースで何度も反復練習しました。ただ、天候は悪くガスで前がまったく見えない状況。足元を探りながらの練習で、その他種目「総合滑走」「フリースタイル大回り」が実施できるか懸念されました。その後、本部の決断で実技開始が30分繰り延べ14時開始となりました。

まずは「リズム変化（総合滑走）」。皆さん、滑る前に気合を入れたり、地元スクールスタッフの時は技術選のラッパが鳴ったりかなり盛り上がりました。皆さん、ガスの中から小回りで現れ、大回りへの変化を披露する等、悪条件の中果敢にアタックしていました。



リズム変化（国体コース下部にて）

2種目を終えて本日の最後に「谷回り」でした。急に時間とともに冷え込みはじめたバーンは堅く、重心移動、面を使ったずらし操作を十分見せることができました。内容が習熟されたのか昨年と違い、各県連とも理論と動作が一致していた印象がありました。30分遅れから始まった実技試験は16時30分までかかりました。自己評価ですが、谷回りは昨年よりうまくいったのでいけそうな気がしました。が、合格発表まで気持ちを切らさず明日につなげることを心に決めました。



谷回り（アイリスゲレンデにて）

2月19日の朝は、日頃お世話になっている青森県のスキースクールスタッフ（A級検定の受験者）から激励を受け、リラックスした雰囲気です試験に望みました。種目順は「横すべり」→「大回り」→「フリースタイル小回り（不整地）」で開始となりました。横滑りは、皆さん〇のようでしたが、2名の方が終わったあと、松ノ木検定員から大きな声で「【横ずらし】ではないよ。【横滑り】をしてきてね」とワンポイントアドバイスがありました。おそらく、重心移動を使わず、足首を動かして内エッジを外す動きがみえたからだと思います。自己評価ですが、私はそれなりに動きを見せられたかなと思います。

朝は晴れていましたが、不整地の開始頃は雪が降ってきました。モサモサのパウダー状況中、ラインはバンク形状が1本しかなかったのですが、検定員の計らいから、関係者で一度デラパージュをかけ、一面のどこでも滑走できる状況にしました。昨年一緒に大鰐で受験した方と「去年はアイスバーンでラインも少なく、コントロールが大変だったなあ」と話しながらコース整備に参加しました。今年はコースが明確なルートと不明確なルートがありましたが、転倒は10に1人くらいで難易度も暴走さえしなければ、大丈夫な感じでした（宮城県勢は無事完走しました）。



フリースタイル小回り（不整地）（駒ヶ岳第二ゲレンデにて）

2月20日は合格者発表でした。地下の大広間に受験生全員が集まり、まず検定員から講評がありました。松ノ木検定員からは「横すべり」「谷まわり」を理解していない方、C単位種目はスピードオーバー暴走しておりコントロールができていない方がいた」とやさしいながらも厳しいコメント。渡部検定員からは「不整地を苦手にする受験生がいた。その方は是非春の柔らかいコブで練習してみてもいいかでしょう（月山へおいでください！とは言わないが・・・）」と笑いを誘うコメントをいただきました。



検定員から講評&合格発表

そしていよいよ合格者。名前がランダムに呼ばれていきます。なかなか私の名前が出で来なかったので「まただめか」と焦りましたが、最後に呼ばれ安堵した次第です。

総合結果ですが、受験生114名中合格87名、不合格27名。27名中C単位で14名が不合格。理論試験も数名不合格だったそうです。合格率は76.3%で全会場で最高だったと報告がなされました。ちなみに宮城県スキー連盟は8名全員が合格！！初の快挙とのことでした。



当クラブ内は先輩指導員が多数おり指導者としてまだ半人前ですが、これから自己研鑽に励み、経験を積んで誰からも認められるような指導者になれるよう努力していきます。最後に私からクラブ員へアドバイスですが、今後指導員検定を受験する方は、私の失敗をしないよう、まず「谷まわり」をしっかり練習して検定に望むことをお勧めします。

本報告書を通じ、準指導員検定よりご指導いただいた方々、応援いただいた方々へ感謝と御礼をいたします。今後ともよろしくお願いします。



ありがとうございました